



TODA CREATIVE LAB トダッテ

TODAtte?

写真-1 ウェルカムゾーン

建設の技術と過去・現在・未来を 体験するミュージアム

TODA CREATIVE LAB “TODAtte? (トダッテ)”

戸田建設が長年にわたり事業を展開してきた東京駅にほど近い京橋の地に、新本社ビル「TODA BUILDING」が2024年9月に竣工した。その開業に合わせて8階に企業ミュージアム「TODA CREATIVE LAB “TODAtte? (トダッテ)”」(以下、当施設)を開設した。創業以来、社会インフラの建設や都市整備を通じて発展してきた戸田建設にとって、企業ミュージアムは初の試みである。

ミュージアム室 佐々木 英子

I コンセプト

当施設の計画は技術研究所から技術ショールームの整備を提案したことによる端を発し、他の展示施設などの調査を行った上で、技術にこだわらず戸田建設および建設業についての展示施設として計画している。その上で、「建設の世界の大きさと楽しさを実感し、新たな未来を考える」とのコンセプトを掲げ、来館者が「見て、聞いて、触れて」という体験を通して、楽しみながら戸田建設と建設業の過去・現在・未来を学べる場の提供をしている。社会や企業、人々が抱える様々な課題とともに

考え、その解決を目指す場として、単なる情報発信の場としてだけでなく、来館者と戸田建設を「つなぐ・つながる」対話の拠点となることをを目指している。

デジタル技術を駆使した映像やグラフィックに加え、実物展示や来館者が実際に触れて体験できるインターラクティブな展示を取り入れることで、楽しみながら建設の世界を学べる構成である。わかりやすさを第一に、テーマやストーリーの設定から映像・音響演出、体験型展示、グラフィック、動線や空間構成にいたるまで、一貫してデザインしている。また、展示物だけ

はなく、実際の建物の構造体や設備などの一部を意図的に見せる設えとすることで、建物そのものを展示するミュージアムを実現した。さらに、専門のアテンダントによる説明と双方向のコミュニケーションを通じて、企業理念や技術の背景まで深く理解できるよう配慮している。

II ゾーン構成

来館者をお迎えするウェルカムゾーン(写真-1)、プロローグゾーン(写真-2)に続き、多角的な価値提供を体現する「企业文化と継承」「知恵と技術」



写真-2 プロローグ

「未来を考える」をテーマとした三つのゾーンで構成している。

(1) ゾーン1：企業文化と継承

戸田建設の前身となる1881年に創業した「戸田方」から現在の「戸田建設」に至る歩みを、時代背景や建設業界の変遷に沿って「創成期」「成長期」「成熟期」「転換期」の四つの時代に区分して紹介している（写真-3）。木立をめぐるように、時代ごとに実物の他に映像や写真、ミニチュア模型などの展示物を用いて紹介している。創業者の精神や企業理念を視覚的に体感でき、ブランドスローガン「Build the Culture. 人がつくる。人でつくる。」を感じ取ることができる構成である。

創成期では、明治維新後の日本の近代化を背景に、創業の精神とともに戸田方の歩みを紹介している。成長期では、戦後復興と高度経済成長を支えたプロジェクトを振り返りながら、企業として成長していく過程を示している。成熟期では、バブル経済とその崩壊を経て、安定と多角化を模索した歩みを示しており、転換期では、地球環境問題や技術革新など新たな課題への取り組みと未来に向けての挑戦を描き出している。これらを通じて、建設業の歴史と共に、戸田建設の企業文化を理解できる。

(2) ゾーン2：知恵と技術

より良い社会の実現に向けた「知恵」、社会課題に応える「技術」、そして社会資本を整備する建設の「仕事の進め方」を体感できる大空間のゾーン

である。幅15m、高さ3mのLEDダイナミックビジョン（写真4）が最大の見どころであり、壮大な建設の世界をリアルに映し出し、ジオラマへのプロジェクトマッピングと連動して表現した画期的な展示となっている。特に、当施設のために新たに撮影・編集した特別映像は見応えのあるコンテンツとなっている。さらに来館者の属性や興味に応じて自由にコンテンツを選べるインタラクティブな仕組みを備え

る。展示はビジネス顧客と一般・学生の来館者を対象とする構成で、手元のモニターで関心のある項目を選択し詳細な情報を表示することが可能である。

ビジネス顧客向けには、建築事業・土木事業・戦略事業の具体的なソリューションや技術を紹介する。用途別・課題別、あるいは特定の事業領域から検索項目を選択し「イントロダクション映像」「特別映像」「ソリューション・技術スライド」「施工実績映像」などのコンテンツを視聴することで、建設業のスケール、戸田建設の技術力の広さと深さ、技術革新のインパクト、そして課題解決力を直感的に体感することができる。

一般・学生の来館者向けには、企画・設計から施工、維持管理に至るまでの建設の仕事の進め方を多角的に紹介する。一連の仕事の流れを紹介するガイダンスマップのほか、大画面に展開されたアニメーションマップから任意の施設を選ぶことが可能で、建設の仕事への理解を深めることができる。



写真-3 沿革



写真-4 LED ダイナミックビジョン

(3) ゾーン3：未来を考える

価値ある未来を創造するための研究開発や体験・実験、他分野の先端企業との協創活動、そして戸田建設グループの考える2050年の未来像を紹介している。このゾーンの中心となるのは、直径7m・高さ3mの360度円筒シアターであり、没入感の高い映像と立体音響により未来像を迫力とともに体験できる。

III 展示概要

(1) 価値づくり

戸田建設が取り組んでいる「安全・安心」「快適環境・カーボンニュートラル」「生産性向上」の三つの重要課題ごとに10テーマ、計30テーマの技術開発について紹介している。来館者は興味のあるテーマを選ぶことが可能で、それぞれテーマについて、技術開発のきっかけや発想、実験や検証の方法など、技術開発の舞台裏を垣間見ることができる（写真-5）。

(2) 技術の実験・体験

来館者が技術に直接触れられる実験展示を多数備える。鉄筋コンクリートについてはコンクリートの材料、コンクリート強度によって音色が変わる楽器、TODA BUILDINGのコアウォールと同じ実物大の配筋模型を紹介している（写真-6）。音環境に関しては建設現場での作業音クイズ、消音装置の

実験、道路橋の床版取替工事に関しては床版模型、吊荷旋回制御装置を用いたゲームなどにより技術の紹介と体験を通じて理解を深められる。

また、機械室や設備スペース、エレベーターシャフトなどの壁にガラスパーテーションを採用することで、通常では見ることができない建物の内部を見る事ができるのも特徴のひとつ



写真-6 技術の実験・体験



写真-5 価値づくり

である（写真-7）。

（3）協創

未来に向けた異業種との取り組みを紹介しており、戸田建設が支援し共に新しい価値作りを目指すスタートアップ企業の新しい技術などを紹介している。

（4）360度円筒シアター

戸田建設がすでに取り組みを開始している「都市」「農業」「エネルギー」を起点とするまちづくりの未来を、実際の映像とコンピュータグラフィックを駆使して没入感を持って体感できる。また、戸田建設の技術研究開発拠

点である茨城県つくば市の筑波技術研究所の映像も用意している。代表的な施設を紹介するために特別に撮影した360度映像である（写真-8）。

（5）企画展エリア

3つのゾーンとは別に、コアウォール空間内の吹き抜け空間を利用して企画展エリアを設けている。期間限定の企画展示を行うエリアであり、現在は「TODA BUILDING」に関する展示を行っている。東京・京橋での戸田建設本社ビルの歴史、「TODA BUILDING」での技術、内・外装へのこだわり、京橋地域との関わりについて、実物や写真、映像などで紹介している（写真-9）。



写真-7 設備の見える化



写真-8 360度円筒シアター

IV おわりに

当施設では、戸田建設に関する情報発信にとどまらず、社会と建設業界をつなぐ施設を目指した取り組みをさらに進めていきたいと考えている。個人・団体を問わずウェブサイトから見学予約が可能である。ぜひ一度「TODAtte?」を訪れ、建設の世界の奥深さと、そこから創り出される未来の可能性を体感していただきたい。

「TODAtte?」公式ウェブサイト：
<https://museum-todatte.toda.co.jp/>

写真-9 企画展

